

手をつなごう。さらに広げよう! 29年の歩み

2021年(令和三年)10月15日発行

2021年度 第2号 (通刊131号)

発行：武蔵野ブラシヨフ市民の会
理事長 大橋 一範

Linkage Magazine Musashino & Brasov

SINCE 1992



曾我 大介氏

令和3年度外務大臣表彰決定!

令和3年度外務大臣表彰に 当会発足の基を築き、現在当会顧問をお願いしている曾我大介氏(東京ニューシティ管弦楽団正指揮者)が決定いたしました。

長年の日本とルーマニアとの相互理解の促進に、曾我氏の功績が認められたものです。

国内在住の個人は22名受賞で、日本とルーマニア関係では一人です

今年は日本とルーマニアの外交樹立100周年にあたりますので、当会としても曾我氏の受賞は晴れがましいものとなりました。

コロナ禍でもあり、授賞式は行われぬのが残念です。

大橋 一範

目次

- ◆ 曾我大介氏 令和3年度外務大臣表彰決定! 大橋 一範 1
- ◆ 武蔵野ブラシヨフ市民の会 一口メモ 2
- ◆ ルーマニア・パラリンピック選手団との交流会が開催されました!
藤田 琢磨 3
- ◆ EUフィルムデーズ「マロナの幻想的な物語」井口 真澄 4
- ◆ 「トランシルヴァニアから伝統刺繍を広めたい!」に参加しました
川瀬 瑛美 6
- ◆ 会からのお知らせ 8

武蔵野ブラショフ市民の会 ー口メモ

会の誕生

1992年6月、指揮者曾我大介氏の要請により、武蔵野市他3市が交響楽団支援に動き、「ルーマニア国立ジョルジュ・ディマ交響楽団歓迎市民の会」が発足しました。

9月、演奏会の支援&交流会を行い、各イベントでのバザー、楽器集めをし、フルート5本、ホルン、オーボエ、トランペット、クラリネットなど多数、ブラショフの子どもたちに3200本のリーコーダーを贈りました。

10月、歓迎市民の会の名称を「武蔵野ブラショフ市民の会」として継続することになりました。

招聘生

2000年から、当会が主体となってブラショフ市の日本語教室の成績優秀者を毎年1名日本に短期招聘しました。

2016年武蔵野市との共催となり、2019年で21人目を迎えました。

トピック



2012年11月

当会設立20周年・武蔵野市ブラショフ市交流20周年記念
「ダヌーツ・マーニャヴァイオリン演奏会」 武蔵野公会堂にて開催

2016年1月

オリンピック2020のルーマニアホストタウンに武蔵野市決定。
副理事長がNHKからインタビューを受けました。

2017年11月より 2021年9月まで

ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団来日時の楽団員との交流、
2019年1月のホストタウン交流フェス参加など武蔵野市市民部 多文化共生・
交流課オリンピック・パラリンピック関連イベントに参加しました。

2020年

コロナ禍のため会の行事(招聘生事業・新年会・バス研修等)は中止となりました。

2021年3月

オンラインによる 「ホストタウンルーマニアおもてなし料理」開催
(共催：武蔵野市・二葉栄養専門学校)

ルーマニア・パラリンピック選手団との交流会が開催されました！

藤田 琢磨

フェリチターリ（おめでとう）！！

武蔵野市の多文化共生・交流課では、8月下旬から9月上旬にかけて3回、日本を訪日中のルーマニア・パラリンピック選手団のみなさんとの、オンラインによる交流会を開催することになりました。

交流会参加者は、公募・抽選により選ばれ第2回目の交流会に「武蔵野ブラショフ市民の会」から佐々木および藤田の両会員が参加することができました。また多文化共生・交流課からの依頼を受けて当会会員の山田エリーザさんも通訳担当で参加し、当意即妙の見事な進行を担いました。

2回目の交流会は、8月28日（土）午後8時15分より開始されることになり、参加する各個人の家・オフィスのPCを使って、ZOOMによる交流という方法となりました。私たちは、手製のルーマニア語のメッセージ・ボード（「おめでとう！」と「さようなら！」）、国旗をあしらった団扇、タオルなどを用意して賑やかに応援する態勢を整えました。

武蔵野市からのご挨拶と共に、ルーマニア選手団側からは、サリー会長の挨拶があり、柔道メダリストのアレックス選手、伊豆で開催の自転車競技場からメダリストのエデュアルド選手（自転車）陸上や卓球などで大活躍の選手およびコーチの皆さんが参加。選手の自己紹介、競技の説明、試合の結果や予定の報告、また美味しかった日本の食事など楽しい話もあり、中身の濃い、心のこもった情報が提供されました。

交流の合間には、私たちが事前に用意したいろいろの応援グッズを使い、賑やかな応援を送り大いに盛り上がりました。武蔵野市の応援グループからは、自己紹介に続き、メダル受賞（銀・銅各1個）のお祝いや各選手の敢闘振りへの賛辞が述べられるとともに、多岐にわたる質問も続出。また、短い時間ではありましたが、「武蔵野ブラショフ市民の会」による30年近い両国の交流活動も説明。

選手団の皆さんも大喜びで交流会を終わろうとせず、予定時間は大幅にオーバーしました。最後に記念撮影となり、大きな声での「応援コール」と「ラ レベデーレ」で、交流会はお別れとなったのです。

ルーマニアの選手団の皆さん、これからもスポーツに、そして両国の交流のために頑張ってください。私たちも、早い機会でのルーマニア訪問による両国の交流再開を期待しています。また、ルーマニアと武蔵野市でお会いしましょう。

ラ レベデーレ（さようなら）！



写真提供：武蔵野市

EUフィルムデーズ 「マロナの幻想的な物語」
ルーマニア フランス ベルギー 合作

井口 真澄



「幸せは ほんのちっぽけなこと 取るに足りないこと…」
マロナからのメッセージ

EU加盟国の在日大使館 文化機関が、文化的多様性と幅広い才能に富んだ選りすぐり作品を一堂に上映するユニークな映画祭《EUフィルムデーズ 2021》

19年目となる今年のルーマニア出品作は、アニメ界最高峰のアヌシー国際アニメーション最高賞受賞歴を誇る、ルーマニア女流作家 アンカ ダミアン監督率いる『マロナの幻想的な物語』。

梅雨の晴れ間の7月11日(日)、ご一緒させて頂いた先輩と会場に足を踏み入れると、映画通らしき大人の男性方の多いこと多いこと。

アニメーションの語源がラテン語のアニマ(命 魂)が由来というのが頭をよぎる、ただならぬ作品の予感。

人となりを瞬時に理解出来るハートの鼻とクリッとした目、トランプカードを散りばめた黒白の切り絵のような出立ちのヒロイン犬マロナは、どこか中性的で一歩引いた客観視線。現代社会の縮図を見るような飼い主達との出会いと別れによって、次々と名付けられる「ナイン」「アナ」「サラ」そしてルーマニア語の茶色を意味する「マロナ」は、宇宙そのもの、高貴な女性、殉教者、大地を総称しているかのネーミング。

幻想的なタッチの最期シーンの幕開けからマロナの足跡が回想されるストーリーは、紙芝居？飛び出す絵本？はたまたイラストレーターの大展覧会のように、2Dと3Dが見事に融合された、動く前衛芸術の世界。

圧縮された犬目線で捉えたデフォルメされた人間のユニークな姿や動きは、これ以上ない程的確で、計算され尽くした明暗対比が際立つビビットな色彩と、変幻自在なテンポの絶妙さに、五感が研ぎ澄まされていくクリアな感覚。

「犬は決まったことが好き。」「人は新しいことが好き。」と鋭い指摘のマロナ。何が幸せなのかを生まれながらに備えたナチュラルに生きる犬の特性と、僅かな事で熱したり冷めたり、マンネリや退屈が苦手な人間は、新しい変化を求め成長していく過程で、更なる幸せを追求していく特性との違いに光が当たる、ジンと心の奥底に響く 90 分間。

余韻に包まれながらの帰路で、突然の雷を伴うスコールに遭遇。
つんざく雷の音と共に蘇ったのは、我が家で大の雷嫌いだった雑種犬のワンシーン。
又もや早くから自主避難の模様。それにしても今度は一体全体何処に隠れているのやら…。
嵐もとうに過ぎ去った頃、半開きの靴箱の奥からノコノコと姿を現したお茶目な家族に、安堵と笑いが込み上げ抱きしめた愛しい記憶。

最寄り駅に到着すると映画のラストシーンさながらの虹のお出迎えを受け、ちっほけどころか大きな幸せで満たされた幕引きの、ミラクル EU フィルムデー。



ルーマニア語教室

休講中

吉祥寺で開催している会話講座です

ルーマニア語だけではなく、現地の習慣や伝統、文化などのお話し、ゲストを招き交流なども行っています。
アットホームな雰囲気で見学もできますので、
初心者の方でも気軽にご参加いただけます。

- ◆日 時：毎月第 1・第 3 水曜日 13:00~15:00
- ◆場 所：御殿山コミュニティセンター tel: 0422-48-9309
- ◆参加費：2 回分 2,000 円（月単位払い）
- ◆問合せ先：
「会」E-mail musashino_brasov2020@yahoo.co.jp
講 師：山田エリーザ（ルーマニア出身）

2020 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして活動しました！！

問合せ先：武蔵野市役所

市民部 多文化共生・交流課

☎ 0422-60-1806（直通）

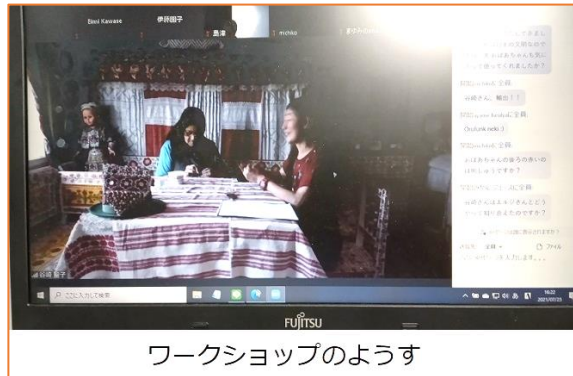


←7月10日

「タワーズマルシェ@むさしの」
オリ・パラ応援フラッグ作り
コーナーが設けられました。
フラッグはパラリンピック選手村へ
贈られたとのこと。

「トランシルヴァニアから伝統刺繍を広めたい！」に参加しました。 川瀬 瑛美

7月22日～25日の4日間、伝統刺繍研究者である谷崎聖子さんのワークショップ「トランシルヴァニアから伝統刺繍を広めたい！」に参加しました。ワークショップは現地トランシルヴァニアの4つの村から、zoomを使って行われ、各日程30～50人が日本から参加しました。



ワークショップのようす

一日目7月22日は、トランシルヴァニア東部に位置するアーバタク村から。谷崎さんの通訳を通して、ピロシュカさんが「編みクロスステッチ」の技法を披露してくださいました。この「編みクロスステッチ」、かつてはトランシルヴァニア全域で行われており、嫁入り道具の枕カバーなどに施されていたそうです。また、1900年パリ万博に出展され世界的に有名になったとか。事前に道具と材料を用意していたものの、クロスステッチをやったことのない筆者にはむずかしく基本のステッチを覚えるところで断念……。手にしている赤い糸が、遠くルーマニアはシビウの工場で作られているとの説明を聞き、旅の思い出がよみがえり、なつかしい気持ちになりました。



シビウの工場で作られる糸

二日目23日は、エルジさんのビーズ刺繍。クルージュ・ナボカの近くのナーダシュ地方では、祝日に着る民族衣装にぎっしりとビーズが使用されます。元々は刺繍のみだったものが、20世紀に国外からビーズが手に入るようになり、華やかなビーズ刺繍になったのだそうです。エルジさんは、そのビーズ衣装を50年も手がけているベテランです。今回は男性の帽子につける飾り、ボクレータを作りました。ビーズをひとつひとつ糸で縫い止めるのかな？と思ったら、ビーズを必要なだけ糸に通して一気に縫い付けるので、思っていたより簡単で楽しく作ることができました。かつては少女が手作りし、愛の告白として男の子にプレゼントしたボクレータ、可愛らしい作品です。

三日目24日、トランシルヴァニア西部、カロタセグ地方のペトリ村から、アンナさんとそのお仲間によるイーラーショシュ。この刺繍の魅力はなんといっても、小鳥や草花のモチーフが太い曲線で描かれ、素朴でかわいらしいところではないでしょうか。この地域、元々はドローンワークやクロスステッチが行われていたところ、1940年代にイーラーショシュが伝わったのだと谷崎さんから説明がありました。刺繍糸の束を首にかけて取り組むアンナさんたち、糸の継ぎ方などそれぞれのやり方も見せていただきました。おもしろいことに、部分的にルーマニア刺繍の技法が用いられ、ハンガリー人村にルーマニア人との交流もあったのだらうと想像させられます。20世紀に始まったビーズ刺繍も然り、良いものは新たに取り入れるし家庭ごとに違ったやり方もある、少し変化しながらも受け継がれる、家庭的で生きている伝統という気がしました。



最終日25日は、クルージュ・ナボカから北東へ30キロ、シク村のアウトライン刺繍をエルジさん親子に教わりました。糸を刺すシュッシュという音の中、日本の参加者から質問があがると、14、15歳から少しずつ嫁入り道具の準備として刺繍を始めること、エルジさんは刺繍の他に機織りもすること、頭に巻いているスカーフや身に付けているエプロンのことなど、村の生活についても話してくださいました。ルーマニアの写真集でみたような、女性たちが集いおしゃべりをしながら刺繍をする風景に、私も一緒に手を動かしながら声に耳をかたむけ、日本から加わったような気分でした。



お知らせ

- ★ オヴィディウ・ドラング（Ovidiu DRANGA）特命全権大使が着任されました。
- ★ 日本武蔵野センター及び研修生受け入れについて
日本武蔵野センターについては、令和3年4月から休校しております。
現在、武蔵野市とブラショフ市の新しい関係構築に向けて協議をしているとのことです。
この状況及び、コロナ禍の状況を踏まえ、センターからの研修生の受け入れは、今年度も実施ができません。
- ★ 武蔵野市交流協会：例年当会が参加していた「武蔵野交流まつり」にかわり、今年は「MIA 多文化体験ウィーク」11月10日～14日開催予定。
- ★ 訃報

当会運営委員 加藤 允氏（79歳）が逝去されました。
かねてより病氣療養中でしたが、9月13日 お亡くなりになり、ご自宅にて葬儀が営まれました。
加藤氏は、永きに亘り役員を務められ当会を盛り立てて下さいました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

会員の皆さまへ：入会御希望の方へ：

会費は、会報紙の発行や「会」事業の補充金として使われています。
年会費を納入していただくことで、更新および加入手続きは完了します。
会費納入は下記へお振込み頂るか、お近くの理事までお願い致します。
（入会金・不要。 会計年度は 4月～翌年3月です）

◎：2021年度 年会費：2,000円 賛助会員：一口5,000円

◎：ゆうちょ銀行から振り込むとき
記号 10190 番号 16976301

◎：他の金融機関から振り込むとき
ゆうちょ銀行

店名 〇ー八（ゼロイチハチ）
店番 018
預金種目 普通預金
口座番号 1697630
名前 ムサシノブラショフシミンノカイ

👉
振込先が
変更になりました！
👉

年会費を振り込んだ方には、会報に領収書を入れておりますので、ご確認ください。

【当会への問い合わせ】

会ホームページ QRコードです→

*「会」E-mail アドレス：musashino_brasov2020@yahoo.co.jp

*「会」ホームページ：http://musashinobrasov2020.g2.xrea.com/

*連絡先：(Fax) 0422-46-9666

(Email) kichijoji@tokyo-net.ne.jp (当会 理事長 大橋 一範)

〒180-0003 武蔵野市 吉祥寺南町 1-4-1 井の頭ビル7F

